



深圳市ってどんなところ？

経済特区に指定されている、香港に隣接する都市。北京市や上海市、広州市とともに中国本土の4大都市とされている。

深圳市

人口 約1,766万人（東京都より300万人以上多い）

面積 1997.47km²（大阪府とほぼ同じ）

年間平均気温 約23.0℃

（参考）野々市市

人口 57,238人 **深圳市の約309分の1**
（令和2年国勢調査）

面積 13.56km² **深圳市の約147分の1**

6年ぶりの訪中！

野々市中国深圳小学 教育交流訪問団

11.18~11.22

11月18日(月)~22日(金)、野々市市の教育交流訪問団が中国深圳小学を訪問しました。

野々市小学校と深圳小学は、昭和60年に友好関係を結び、以後40年に渡り相互訪問を行ってきました。令和5年に深圳小学が野々市市を訪問しており、今回は1年振りの再会です。野々市・富陽・館野小学校の児童12人と引率10人の訪問団は、さまざまな体験を通じ、深圳小学との友好を深めました。

21日(木)



校内見学

20日(水)



AIによる集中力測定



超電導と磁気浮上の実験



植物の遺伝子の抽出



深圳美術館で中国書道体験



深圳美術館で観覧



歓迎式典



じょんから踊りを披露



深圳小学の児童約2,500人へあいさつ

19日(火)



深圳小学児童らがお見送り



歓迎晩餐会



訪問団のYOSAKOIソーラン



深圳小学児童の演舞披露



餃子作り



プログラミング体験



給食交流



深圳小学の児童から縦笛のコツを教わりました。

●歓迎式典

19日(火)、野々市市からの訪問団を、深圳小学の大勢の児童たちが「こんにちは！ ようこそ！」と日本語で温かく迎えてくれました。

歓迎式典では、深圳小学の王校長が相互訪問が40年続いていることへの感謝を、野々市小学校の中野校長が友好の絆が着実に発展している喜びを互いに伝えました。児童を代表して野々市小6年の守護こはるさんが、前年に深圳からの訪問団を受け入れた思い出を交え「深圳市でたくさんの方と交流したい」と話しました。その後、野々市市の児童は、夏休みから練習してきたリコーダーの演奏や、YOSAKOIソーラン、じょんから踊りを披露しました。

●授業交流・給食交流

授業交流ではさまざまな授業を体験しました。音楽では、ひょうたん型の縦笛に挑戦し、リコーダーと異なる指使いや吹き方を学びました。科学では、顔認証システムのプログラミングなどの最先端科学を体験。給食では、料理が温かい状態で提供され、中国では冷たい食べ物を食べる習慣がありませんことを学びました。給食後、昼寝時間1時間を挟み、労働の授業で餃子作りを実施。中国文化を学ぶとともに、児童同士が友情を育む貴重な機会となりました。

●深圳市内研修

20日(水)は、深圳市内を見学しました。少年科学技術館では、館内を貸し切ってドローンの体験やAIによる集中力測定などを体験。深圳美術館では、館長や美術品の作者本人が美術品の解説をしてくれるなどの貴重な経験ができて、児童らは終始目を輝かせていました。また、市内見学中は、教員や私服警官が訪問団の周囲を見守ってくれました。

滞在中、児童はホームステイを行い、それぞれの家庭で中国の暮らしを体験しました。中には、以前に野々市市でホストファミリーとして受け入れた深圳小学児童の家へ今度は自分がホームステイをしてお世話になった子も。20日(水)の夜には、ホストファミリーも一同に会する歓迎晩餐会を開催。訪問団がYOSAKOIソーランを披露したほか、深圳小学の音楽教員による横笛演奏もあり、すてきな音楽と共に深圳市の最後の夕食を堪能しました。

●再会を願って

21日(木)は、深圳小学児童から学校の歴史を聞きながら校内見学。日本との共通点や相違点をあれこれ見つけながら校内を満喫しました。送別会では、野々市小6年の山岸泰松さんが代表して感謝を伝え、今後の交流の深まりと再会を願いました。